

授業科目名・形態	助産管理論 講義	必修・選択の別	選択	単位数	2
担当者氏名	日沼ゆかり・中嶋 真優美	実務経験の有無	有	開講期	4年前期

【授業の主題】

助産管理に必要な理論、および助産業務の法的範囲と責任について学び、病院や地域における質の高い助産ケアを提供できる助産活動について学ぶ。

【到達目標】

1. 助産管理に必要な基本的理論および助産師業務に関わる関係法規と責務、倫理を学び助産管理について考えることができる。
2. 助産実践および助産教育に関わる課題に応じた助産管理を学ぶことができる。

【授業計画・内容】

第 1・2 回	助産管理の基本と助産業務管理	(日沼)
第 3・4 回	関係法規と助産の義務・責任	(日沼)
第 5・6 回	周産期医療体制と地域連携	(日沼)
第 7・8 回	助産に関する医療安全と危機管理	(日沼)
第 9・10 回	場に応じた助産業務管理	(日沼)
第 11・12 回	地域における健康事業、他 (課題演習)	(日沼)
第 13 回	事前課題発表、情報検討 (課題演習)	(日沼)
第 14・15 回	助産業務と助産所管理	(中嶋)

【授業実施方法】

基本的に講義です。

地域母子保健について事前課題があります。事前課題から学んだことを発表しあい知識を広げていきます。

【授業準備】

- 助産に関する科目の復習をしておくこと
- 講義内容を踏まえ教科書を読んでおくこと

【主な関連する科目】

「看護マネジメント論」「助産学概論」「助産診断・技術学Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ」

【教科書等】

我部山キヨ子：助産学講座9、地域母子保健・国際母子保健、医学書院
我部山キヨ子：助産学講座10、助産管理、医学書院

【参考文献】

厚生労働白書、助産業務ガイドライン2019 他 授業で紹介します。

【成績評価方法】

課題発表 20%、筆記試験 80%

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

アドバンス助産師としての実務経験あり。

助産師としての実務経験をふまえ、臨床事例を活かし理解が深まるように工夫します。

【学生へのメッセージ】

助産師や助産業務をめぐる社会的動向に合わせ対応できる助産師の育成を頑張ります。積極的に授業に参加できるよう居心地のいい楽しい授業になるように心がけます。適宜、意見交換をしますので、積極的に参加し自分の意見を活発に発表してください。